

観中人権だより

2026年度《No.4》

2026/7/10(金)

観音寺市立観音寺中学校

観音寺中学校では、毎学期に人権学習を実施しています。1年生はことば遣いを題材にした「しまったシール」、2年生は認知症の祖父との生活を綴った「じいちゃん。ありがとう」、3年生はいじめを題材とした「もう二度としない」を学習しました。授業後の感想を紹介したいと思います。



1年生「しまったシール」から

○何となく言った些細な一言で相手を傷つけてしまうことがある。人のいやがる言葉や、あだ名で人を呼ばないように心掛けたい。1人1人がこれらを意識して生活することができればもっといいクラスになっていけると思った。

○当たり前のことだけれど、相手のことを考えて発言すること、自分の発言に責任を持つことが大切だと思った。クラスの問題について1人1人が高い意識をもって考え、改善に向けて行動に移していくことが難しいけれども大切だと思う。

○褒められたら嬉しい気持ちになるし、悪口を言われたら悲しい気持ちになる。言葉は人を良い気持ちにも悪い気持ちにもさせてしまう。そのことを心にとめて生活していきたい。

○良いクラスにしていくためには、相手のことを考えること、相手を思いやることが大切だと思う。周りのことを考えた言動をしていきたい。

2年生「じいちゃん。ありがとう」から

○自分もひいおばあちゃんの介護をしていたので、すごく共感した。認知症になってからも、普段はおもしろくてかわいらしいおばあちゃんだったが、時にはイラッとすることもあった。でも今考えると、介護していた時間は楽しく、かけがえのない時間だった。介護をする側も、一緒にいられる残り少ない貴重な時間を大切に過ごして行ってほしいなと思った。

○私のじいちゃん、ばあちゃんはまだ認知症という感じではないけれど、これからそうなると思うと少し怖いと感じた。しかし、これまでと同じように関わりながら、お手伝いなどをたくさんしていきたいと思った。居なくなった後、後悔しないようにしっかりと思いを伝え、温かい時間を過ごしたい。また、地域の高齢者の方々に対しても、笑顔で接していきたいなと思った。

○今日の授業を通して、おじいちゃんおばあちゃんを大切にしようと思った。送り迎えをしてくれていることにも感謝の気持ちをもちたい。また、毎日挨拶をしてくれる近所の人にも、元気な挨拶をすることで、互いに元気を分け合っていきたいと思った。

3年生「もう二度としない」から

○自分勝手な思いを一人で相手にぶつけるのが怖くて、何人かでいじめるのはとても恥ずかしく、みっともないことだと思った。いじめで解決しようとするのではなく、面と向かって話し合い、お互いが納得できるようにすることが大切だと思った。イライラしてストレスがたまってしまうときには、誰かに当たるのではなく、何か違う方法で発散して、すっきりした状態で友達と接することが大切だと思った。

○そのときの感情にまかせてしたことは後から「やるんじゃなかった」と後悔するハメになると思った。感情に飲み込まれず、後戻りできないことは絶対にしないようにしたい。発言や行動も少し考えてからするようにしたい。

○「後悔先に立たず」という言葉通り、自分の心のストップに気付かないままエスカレートしていくと、最終的に取り返しのがつかないことになってしまうのだなと思った。真由美さんと私がはじめてから話合うことができていれば、こんなことにならなかったのではと考える。私は、一方的にうらやましがめるのではなく、真由美さんのように努力する必要があると思った。